

地域の雇用と所得を生み出す 新しいタイプの林道整備を！



1 新しいタイプの林道＝「林業専用道」は、地域の森林を活かして雇用と所得を創出します。

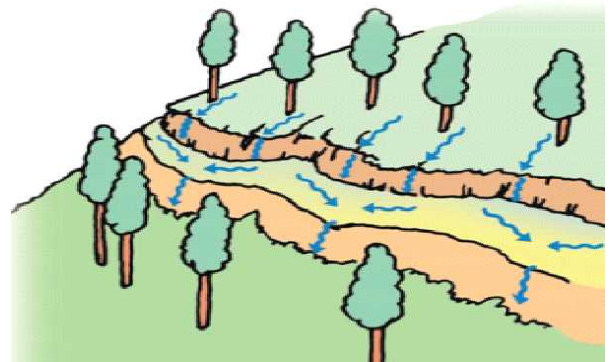
林業専用道は、我が国の森林資源が充実しつつある中で、木材を市場に低コストで輸送するための、新しい林道です。

近年、森林資源の活用や林業の再生に取り組み、5年間で林業従事者（通年雇用）を約100人増やし雇用の創出を図るとともに、集約的施業に地域をあげて取り組み、5年間で約21億円の経済効果をもたらした市町村もあります。

このような取り組みを進めるのに役立つのが、林業専用道です。

⇒林業専用道の特徴は？

- ① 地形に沿った簡易な構造だから、大切な山を壊しません。
- ② 大型トラックが走行できます。
- ③ 林道だから災害復旧事業の対象です。
- ④ 単価が安いので、同じ事業費で従来の林道より長い距離を作れます。
- ⑤ 近年の技術進歩により豪雨にも強い道づくりができます。



(図)排水に優れ壊れにくい道のイメージ

⇒例えば…

林業専用道を延長800m作ると、その沿線の両側200mの森林32haが利用可能に



森林の年間成長量 $10\text{m}^3/\text{ha} \times 32\text{ha} = 320\text{m}^3$ 、立木価格約 $3,000\text{円}/\text{m}^3$ とすると、森林の資産価値が毎年96万円も増大。また、毎年の成長量分を伐採するとすれば、丸太価格で約200万円以上の生産額となり、雇用と所得を生み出します。



なお、林業専用道の単価はだいたい50,000円/mなので、延長800mだと事業費は4,000万円になりますが、補助や地方財政措置等もあり、投資に対するリターンは相当なものとなることもあり得ます。

林業専用道で、成熟しつつある森林資源を地域の再生に活かしましょう！



2 林業専用道は、土木工事や林業に詳しい職員がいない市町村でも作れます。

○現地調査や測量、路線の設計、工事施工・監督等の業務を、市町村から外部に委託することが可能です（委託費も補助の対象になります）

○住民の合意に基づき、大まかな路線の位置が決まっていれば、地域森林計画に記載した上で、補助金が受けられます。



3 林業専用道整備への支援が充実しています！

○以下の事業等により林業専用道の整備への支援が受けられます

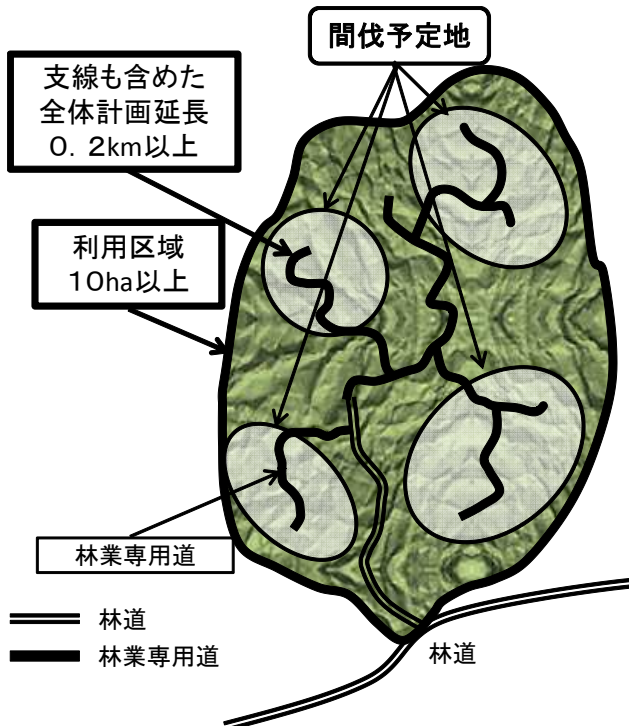
- ①林業専用道整備事業（森林整備事業）
- ②農山漁村地域整備交付金
- ③地域自主戦略交付金 等



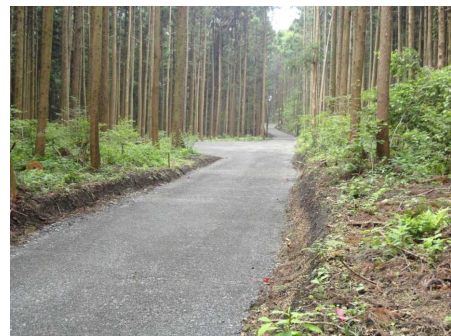
○従来の林道よりも幅広く採択可能です

支線も含めた全体の計画延長が200m以上であれば採択可能です。

また、利用区域の要件も、各支線の利用区域の合計が10 ha以上であれば採択できます。（災害復旧事業の対象となります。）



(図) 林業専用道の計画イメージ



整備された林業専用道



簡易な構造の横断溝